

2018年5月10日(木)

5・6年CDE組「南アルプスチロル学園」宿泊学習④

予定通り、北杜市オオムラサキセンターに向かいました。ここは国蝶オオムラサキを通じて、オオムラサキを育ててきた里山とそこに生きるいろいろな生き物について学ぶことのできる施設です。まずは全員でオオムラサキの生長についてのビデオを鑑賞しました。



次に、実際にオオムラサキの生態を観察することのできる「ひばりうむ長坂」に入り、係の人に説明を受けながら、観察することになりました。一年の内では今は3センチくらいの幼虫になっているとのこと、葉っぱの裏などを一生懸命探しました。



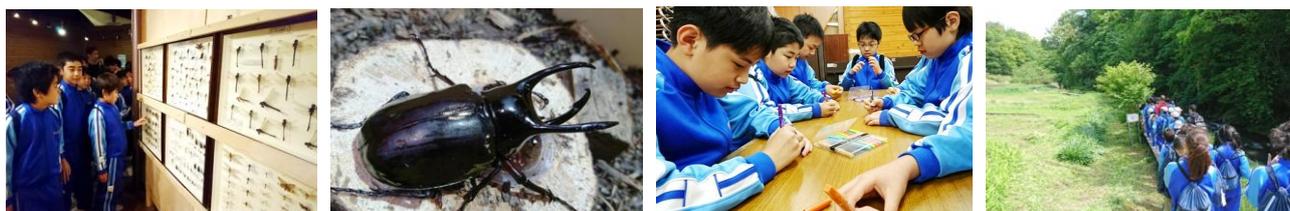
最初はなかなか見つけれなかったのですが、じっくり探すと10～15匹くらいのオオムラサキの幼虫を発見、観察することができました。でも実際は、卵から孵化して成虫になるのは全体の数パーセントなんだそうです。メスは500個くらいの卵を産むといわれているそうですが、その理由にも納得ですね。



気持ち良い芝生の上で皆で輪になってお弁当を食べ、記念写真を撮りました。



次に館内の展示の鑑賞、お土産のキーホルダー作り、園内の自然散策を楽しみました。



今、子ども達はお風呂と夕食を終え、これから楽しみにしていた星空観察会の時間を待っているところです。